

「区役所・サンプラザ地区再整備推進区民会議」

国内ライブ・エンタテインメント市場の概況

2018年11月7日

ぴあ総研 笹井裕子

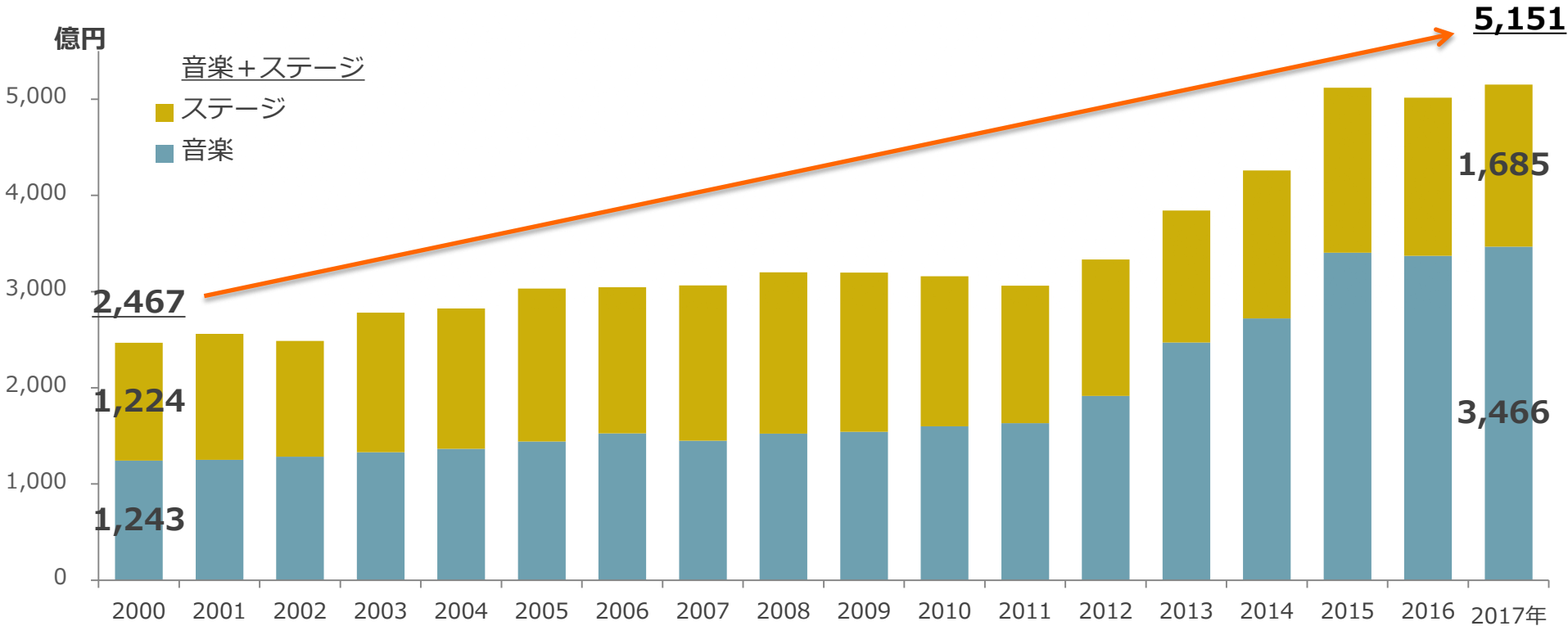
堅調に推移する 国内ライブ・エンタテインメント市場

- ◆ 2017年のライブ・エンタテインメント市場は、過去最高を記録
- ◆ 2000年から2017年にかけて約2倍に拡大

【国内ライブ・エンタテインメント市場規模の推移】

* ライブ・エンタテインメント市場規模=音楽・ステージのチケット販売額計

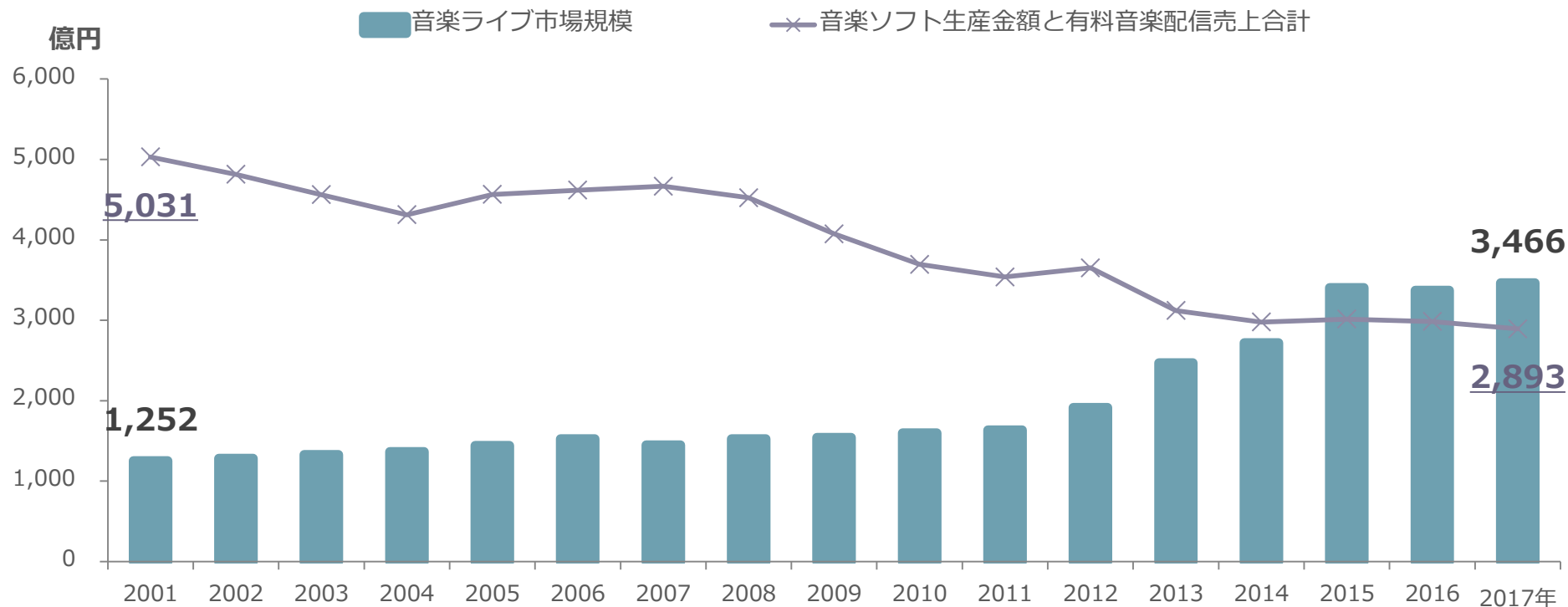
2000年時点と比べ
約2倍に拡大



堅調に推移する 国内ライブ・エンタテインメント市場

◆ パッケージ不振の一方で、音楽ライブ市場は成長。

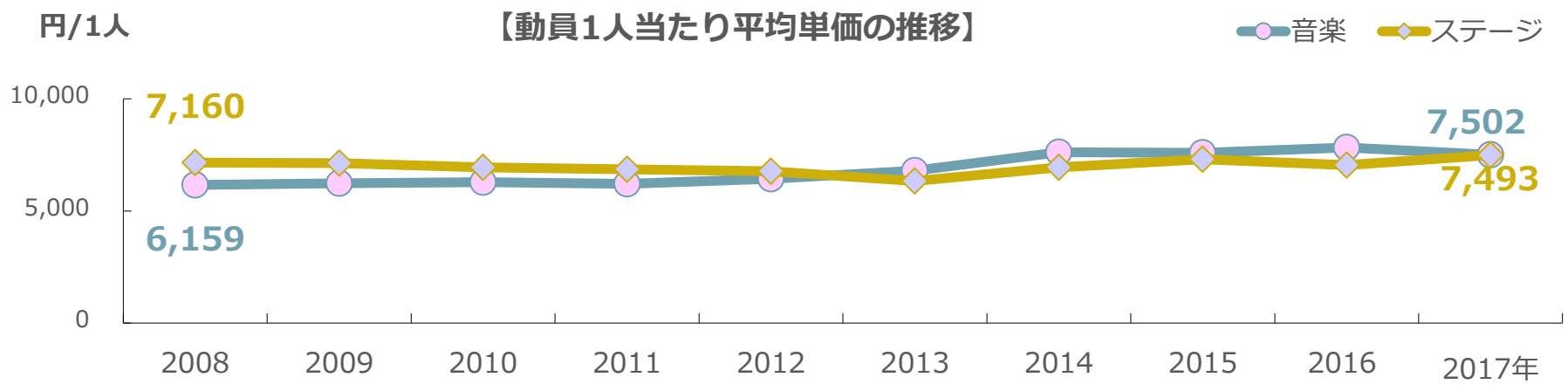
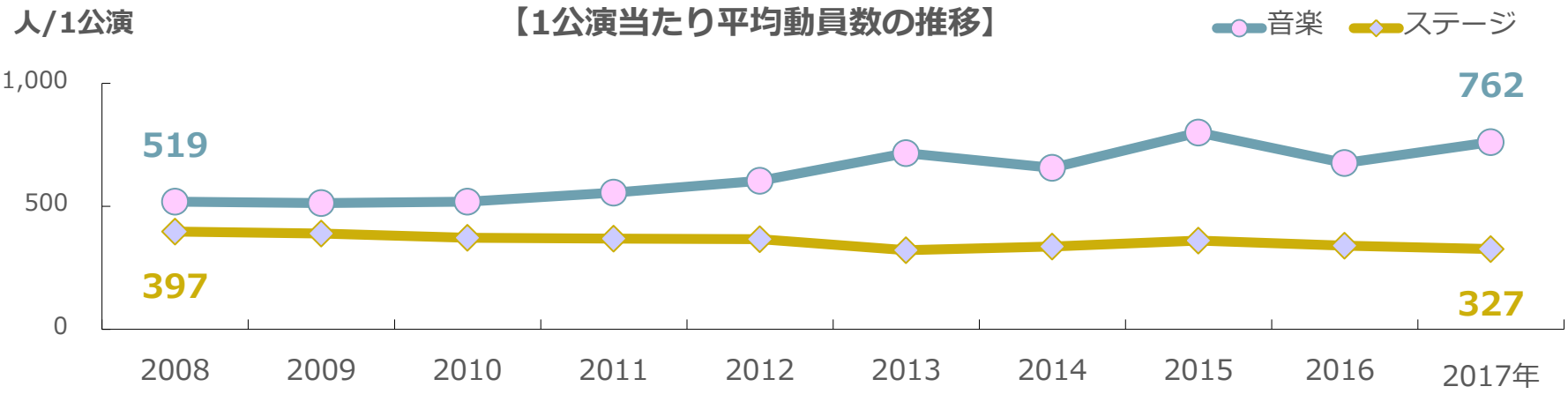
【音楽市場規模の推移：音楽ライブ市場と音楽ソフト及び配信市場】



データ出典：「音楽ソフト生産金額および有料音楽配信売上」日本レコード協会による

平均動員数と平均単価の推移

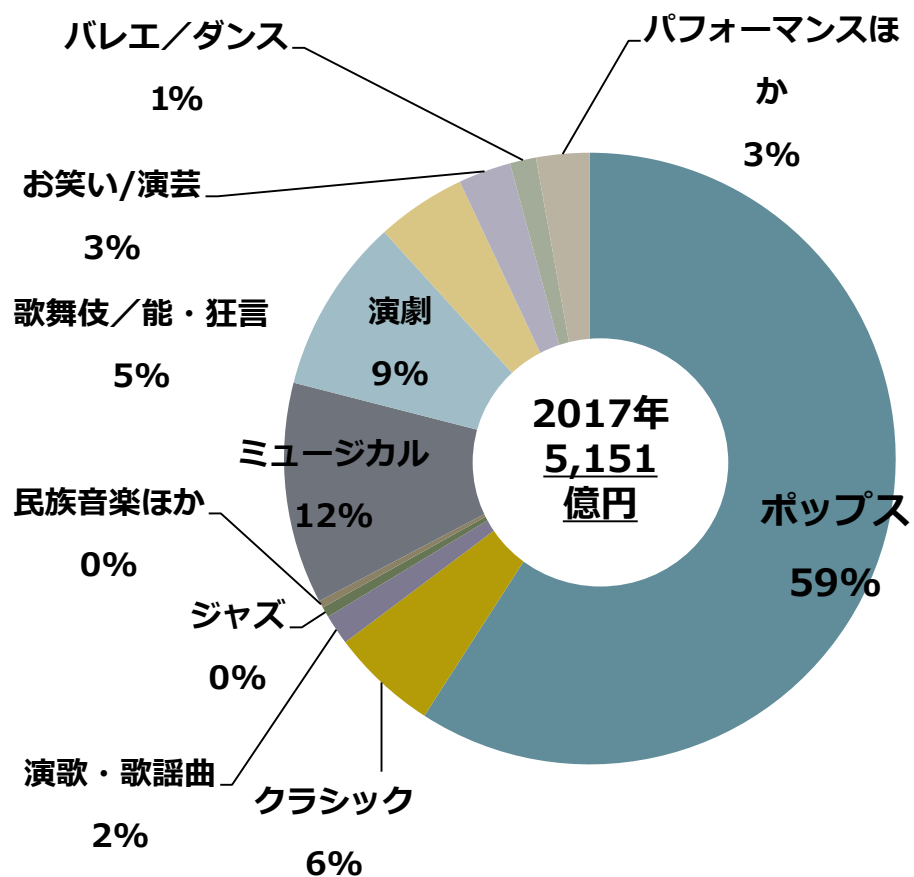
◆ 音楽市場規模の拡大は、1公演あたり平均動員数と平均単価の上昇による。



ライブ・エンタテインメント市場規模の内訳

◆ ライブ・エンタテインメント市場の59.1%(市場規模ベース)をポップスが占める

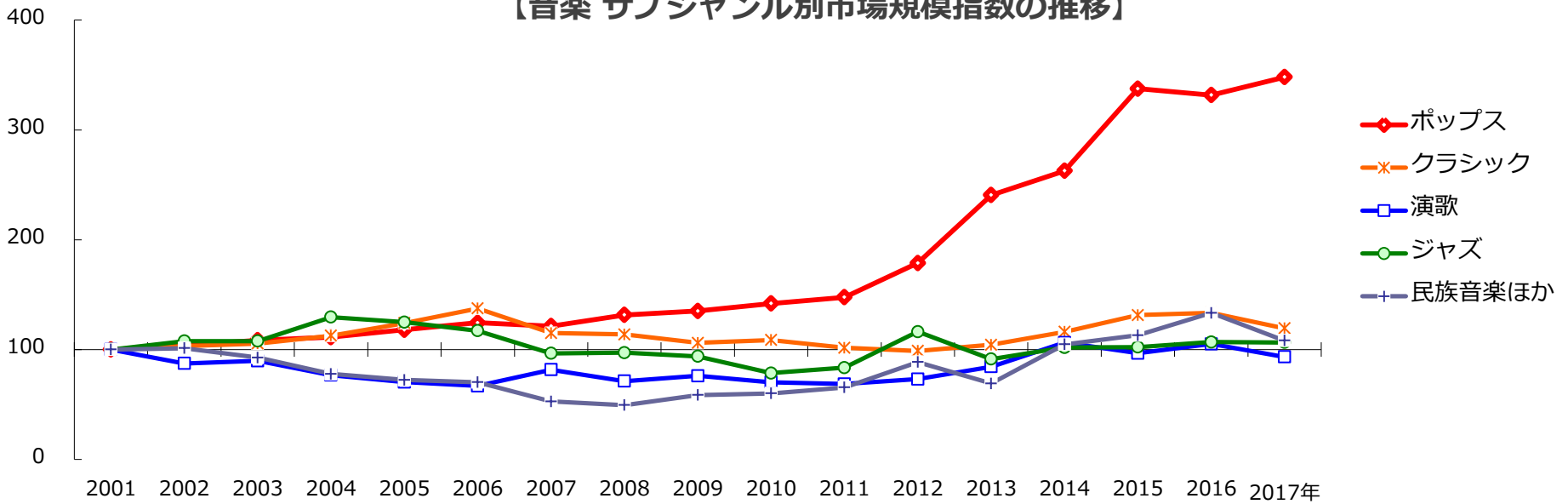
【ライブ・エンタテインメント市場規模のジャンル別構成比率:2017年】



ポップスの伸長が市場全体を牽引

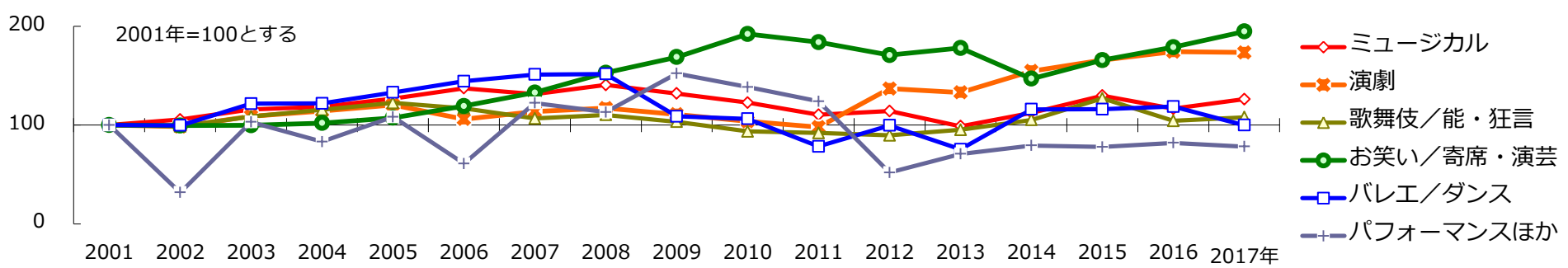
2001年=100とする

【音楽サブジャンル別市場規模指数の推移】



【ステージサブジャンル別市場規模指数の推移】

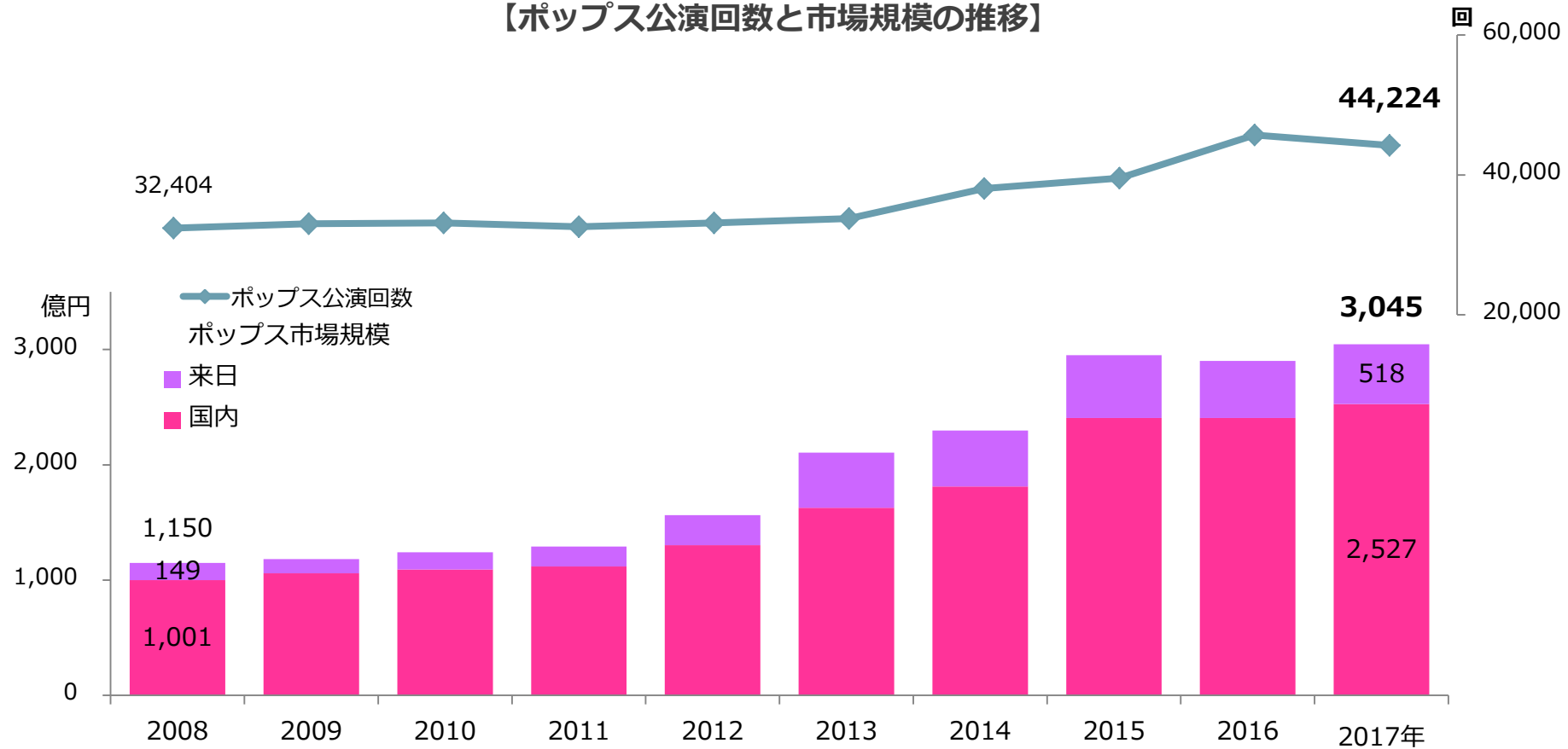
2001年=100とする



ポップス市場の推移

特に、2012年以降の成長が顕著

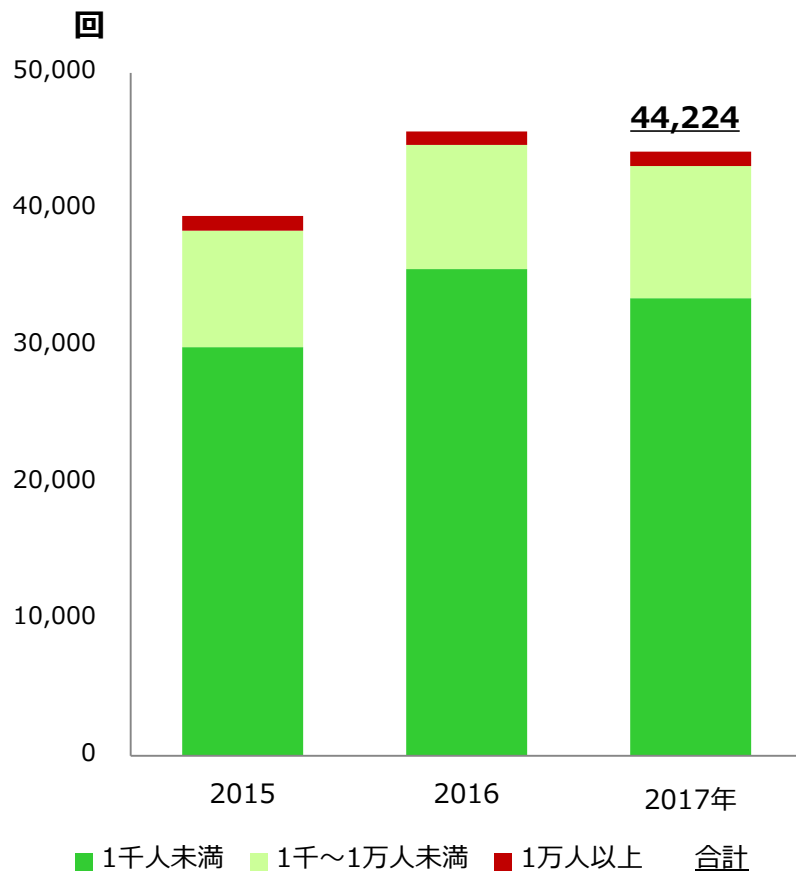
【ポップス公演回数と市場規模の推移】



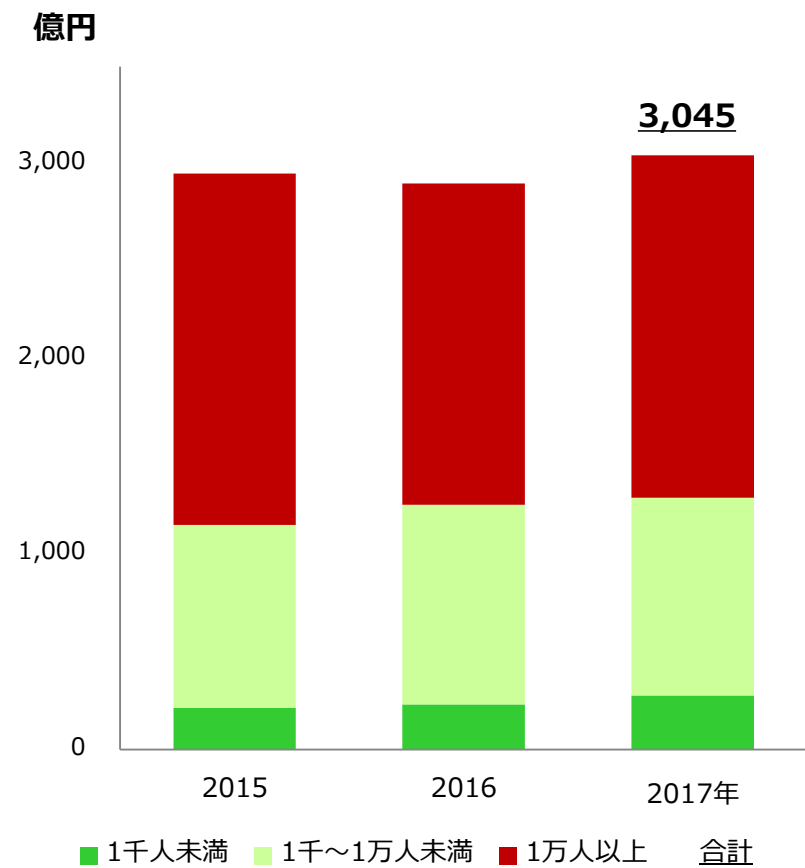
ポップス公演回数・市場規模：会場規模別

◆ 1万人以上の会場で開催されるポップス公演が、市場規模に占める割合が高い。

【ポップス公演回数：会場規模別】



【ポップス市場規模：会場規模別】



〔参考〕国内ポップスの興行規模ランキング

【興行規模ランキング】 *興行規模＝公演回数×各会場の最大収容人数 実際の動員数とは異なる

国内ポップス:2017年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	187.0	37
2	嵐	118.5	24
3	Hey! Say! JUMP	87.5	38
4	関ジャニ∞	85.2	17
5	Mr. Children	80.3	29
6	AAA	56.0	18
7	桑田佳祐	50.4	20
8	GENERATIONS from EXILE TRIBE	46.5	33
9	Kis-My-Ft2	41.2	31
10	ジャニーズWEST	40.6	31
11	EXILE THE SECOND	40.5	39
12	NEWS	40.0	26
13	GLAY	38.0	44
14	UVERworld	36.9	59
15	back number	36.2	30
16	ONE OK ROCK	35.7	32
17	コブクロ	35.3	30
18	ゆず	34.5	20
19	ケツメイシ	31.7	27
20	星野 源	28.1	20

国内ポップス:2016年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	嵐	110.8	38
2	関ジャニ∞	78.8	38
3	HIGH&LOW THE LIVE	73.3	18
4	ももいろクローバーZ	52.4	15
5	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	52.3	13
6	Kis-My-Ft2	47.8	11
7	AAA	45.6	27
8	EXILE ATSUSHI	44.2	12
9	Hey! Say! JUMP	43.0	36
10	小田和正	41.0	48
11	GENERATIONS from EXILE TRIBE	40.6	41
12	ジャニーズWEST	38.7	28
13	DREAMS COME TRUE	35.6	38
14	Perfume	34.7	20
15	Kinki Kids	31.7	17
16	氷室京介	31.2	7
17	BUMP OF CHICKEN	31.1	7
18	THE YELLOW MONKEY	30.3	41
19	SEKAI NO OWARI	30.0	25
20	NEWS	29.7	20

〔参考〕 来日ポップスの興行規模ランキング

【興行規模ランキング】 *興行規模＝公演回数×各会場の最大収容人数 実際の動員数とは異なる

来日ポップス:2017年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	BIGBANG	108.7	21
2	東方神起	56.5	11
3	iKON	49.4	35
4	防弾少年団 (BTS)	36.4	15
5	D-LITE	26.1	41
6	G-DRAGON	25.6	5
7	キム・ジェジュン	19.7	11
8	ポール・マッカートニー	17.9	4
9	CNBLUE	17.5	13
10	GUNS N' ROSES	15.4	5
11	SEVENTEEN	14.0	8
12	GOT7	10.0	24
13	SUPER JUNIOR-KYUHYUN	9.2	16
14	FTISLAND	9.0	13
15	WOORYOUNG	8.8	21
16	チャン・グンソク	7.1	6
17	SOL	7.0	4
18	JUNG YONG HWA	6.4	11
19	JOURNEY	5.6	5
20	JUNHO	5.6	12

来日ポップス:2016年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	BIGBANG	162.8	60
2	SHINee	33.6	20
3	EXO	32.7	15
4	iKON	31.3	30
5	2PM	28.7	17
6	XIA (ジュンス)	16.3	14
7	防弾少年団	16.1	14
8	CNBLUE	14.8	12
9	FTISLAND	11.4	23
10	イル・ディーヴォ	9.8	10
11	JUNHO	7.4	14
12	Eric Clapton	7.2	5
13	TEAM H	7.2	6
14	SARAH BRIGHTMAN	6.6	11
15	U-KISS	5.8	27
16	SUPER JUNIOR-KYUHYUN	5.6	16
17	f(x)	5.2	8
18	GOT7	5.1	15
19	WINNER	4.9	9
20	Jun. K	4.9	10

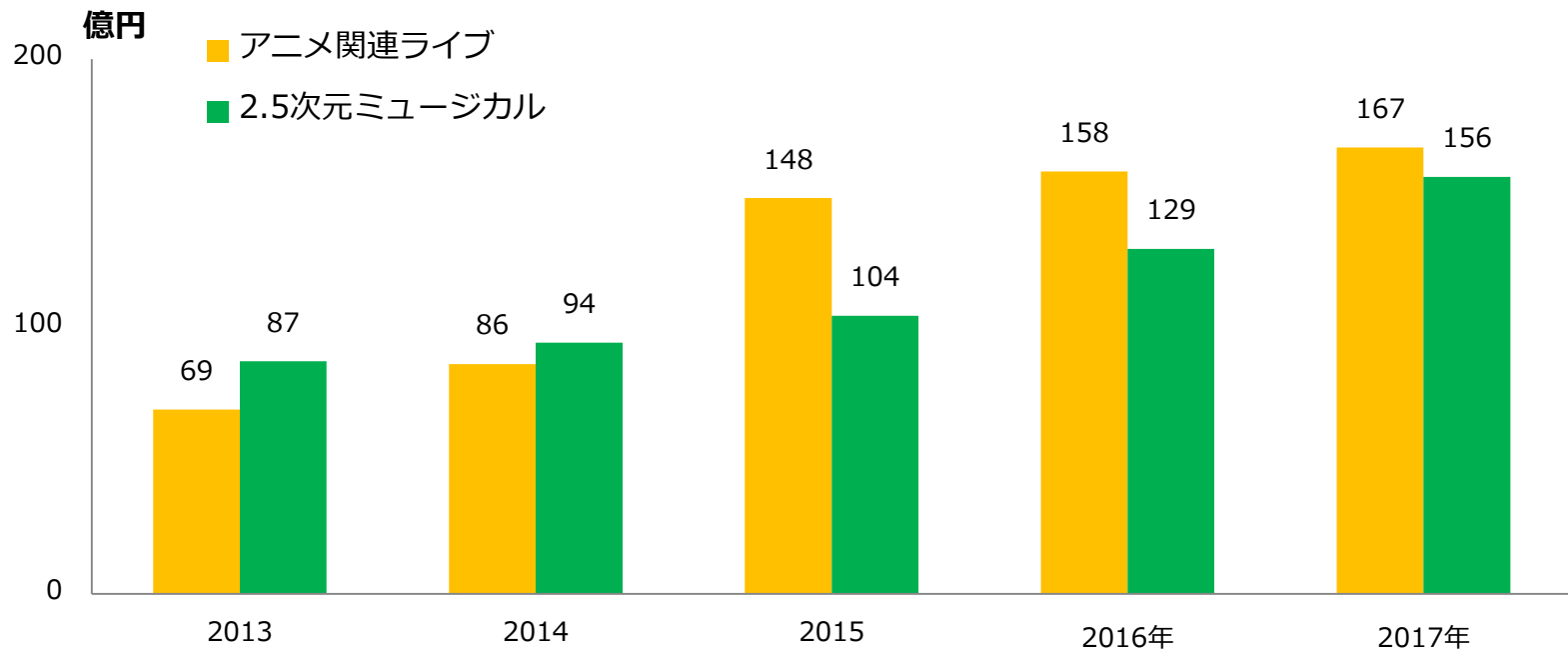
【トレンド】

アニメ、ゲーム等原作コンテンツの台頭

- 声優イベントやアニソンコンサート等、アニメ・ゲーム原作のミュージカル・演劇公演市場が成長。

【漫画・アニメ・ゲーム由来のライブ市場規模】

*ミュージカルのみならず、歌やダンスを伴わない演劇などの舞台も含む



【参考】チケットぴあ お気に入り登録アーティスト

◆ 10代、20代の若年層男女において、アニメ関連のお気に入り登録が目立つ。

【男性 お気に入り登録アーティストランキング】

[19歳以下]

順位	アーティスト/カテゴリー
1	ONE OK ROCK
2	UVERworld
3	映画
4	back number
5	SiM
6	WANIMA
7	映画舞台挨拶
8	アニメ・ソング
9	三森すずこ
10	O4 Limited Sazabys
11	AAA
12	キュウソネコカミ
13	[Alexandros]
14	KEYTALK
15	ミルキィホームズ
16	THE ORAL CIGARETTES
17	KANA-BOON
18	BLUE ENCOUNT
19	サカナクション
20	SHISHAMO

[20歳～29歳]

順位	アーティスト/カテゴリー
1	ONE OK ROCK
2	ももいろクローバーZ
3	映画
4	映画舞台挨拶
5	アニメ・ソング
6	UVERworld
7	AKB48
8	ROCK IN JAPAN FESTIVAL
9	WANIMA
10	南條愛乃
11	三森すずこ
12	水樹奈々
13	SiM
14	Mr.Children
15	back number
16	内田彩
17	キュウソネコカミ
18	サカナクション
19	BUMP OF CHICKEN
20	徳井青空

【女性 お気に入り登録アーティストランキング】

[19歳以下]

順位	アーティスト/カテゴリー
1	映画
2	ONE OK ROCK
3	映画舞台挨拶
4	AAA
5	back number
6	韓流エンタテインメント
7	鈴木健一
8	Nissy(西島隆弘)
9	下野紘
10	SKY-HI
11	福山潤
12	與真司郎
13	宇野実彩子
14	末吉秀太
15	アニメ・ソング
16	寺島拓篤
17	CONNECT
18	URATA NAOYA
19	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE
20	漫画・アニメ・ゲーム原作の舞台

[20歳～29歳]

順位	アーティスト/カテゴリー
1	映画
2	映画舞台挨拶
3	ONE OK ROCK
4	韓流エンタテインメント
5	back number
6	鈴木健一
7	UVERworld
8	アニメ・ソング
9	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE
10	下野紘
11	AAA
12	BUMP OF CHICKEN
13	漫画・アニメ・ゲーム原作の舞台
14	GRANRODEO
15	宮野真守
16	福山潤
17	谷山紀章
18	CONNECT
19	森久保祥太郎
20	寺島拓篤

※2017年3月末時点

ポップスの成長トレンド

国内ポップス
2,527億円
(前年比5.0%増)

アイドルや音楽グループの活躍



- ジャニーズ事務所所属アーティストの活躍
- avexやLDH所属の音楽グループの活躍

アニメ・ゲーム由来のライブやイベントの活況



- 声優イベントやアニソンコンサート等の活況

ベテランアーティストの活躍
周年記念イベント等



- Mr.Children、桑田圭祐、ゆず等
- GLAY

バンドシーンの活況



- ライブパフォーマンスで観客を盛り上げ、新たなファンを獲得 ONE OK ROCK、UVERworld等

来日ポップス
518億円
(前年比4.4%増)

韓国コンテンツの活況



- BIGBANG等、K-POPグループの依然人気

ベテランアーティストの活躍



- ポール・マッカートニー、GUNS N' ROSES等

フェスの定着と多様化

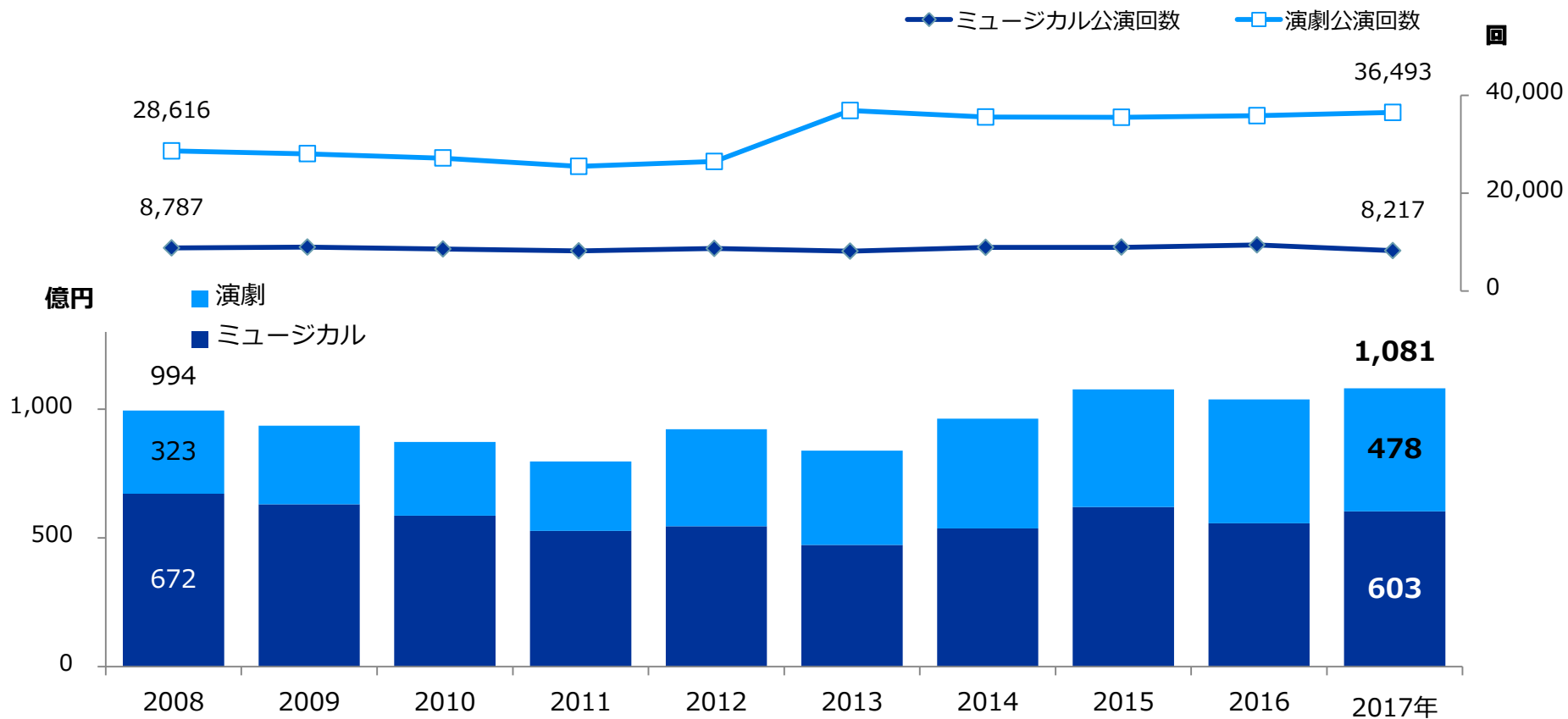


- ロックフェスの定着
- フェスの多様化(アイドル、アニメ、EDM等)

ミュージカルと演劇市場

◆ ミュージカル+演劇の市場規模は、ほぼ横ばいで推移

【ミュージカル・演劇公演回数と市場規模の推移】



〔参考〕国内ミュージカルの興行規模ランキング

【興行規模ランキング】*興行規模＝公演回数×各会場の最大収容人数 実際の動員数とは異なる

国内ミュージカル:2017年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	劇団四季「リトルマーメイド」	67.0	561
2	劇団四季「ライオンキング」	62.8	557
3	劇団四季「キャッツ」	44.6	339
4	劇団四季「アラジン」	39.3	323
5	ミュージカル「レ・ミゼラブル」	28.3	155
6	劇団四季「オペラ座の怪人」	27.4	201
7	宝塚歌劇星組 『THE SCARLET PIMPERNEL』	25.4	110
7	宝塚歌劇雪組 『幕末太陽傳』/『Dramatic "S"!』	25.4	110
7	宝塚歌劇宙組 『神々の土地』～ロマノフたちの黄昏～/『クラシカル ビジュー』	25.4	110
10	宝塚歌劇花組 『邪馬台国の風』/『Sante!!』～最高級ワインをあなたに～	23.3	100
11	宝塚歌劇月組 『All for One』～ダルトニアンと太陽王～	23.1	101
12	宝塚歌劇星組 『ベルリン、わが愛』/『Bouquet de TAKARAZUKA』	23.1	99
13	劇団四季「ノートルダムの鐘」	21.2	231
14	宝塚歌劇月組 『グランドホテル』/『カルーセル輪舞曲(ロンド)』	21.0	92
15	宝塚歌劇宙組 『王妃の館 -Chateau de la Reine-』/『VIVA!FESTA!』	21.0	91
16	ミュージカル『刀剣乱舞』～真剣乱舞祭2017～	20.2	9
17	劇団四季「アンデルセン」	18.3	115
18	ミュージカル「ピリー・エリオット～リトル・ダンサー～」	17.5	121
19	きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル	13.1	91
20	宝塚歌劇宙組 『ひかりふる路～革命家、マクシミリアン・ロベスピエール～』/『SUPER VOYAGER!』～希望の海へ～	13.0	51

国内ミュージカル:2016年

順位	アーティスト	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	劇団四季「ライオンキング」	54.7	449
2	劇団四季「リトルマーメイド」	50.5	407
3	劇団四季「アラジン」	40.9	336
4	宝塚歌劇花組 『ME AND MY GIRL』	25.4	110
5	宝塚歌劇雪組 『るろうに剣心』	25.2	109
6	劇団四季「ウェストサイド物語」	25.0	204
7	宝塚歌劇星組 MUSICAL『こもり』等	24.9	108
8	劇団四季「キャッツ」	24.7	229
9	宝塚歌劇星組 『桜華に舞え』等	22.9	98
10	宝塚歌劇宙組 『エリザベート -愛と死の輪舞(ロンド)-』	22.9	100
11	宝塚歌劇宙組 『Shakespeare～空に満つるは、尽きせぬ言の葉～』等	22.7	99
12	劇団四季「美女と野獣」	22.2	219
13	ミュージカル「エリザベート」	21.6	127
14	劇団四季「オペラ座の怪人」	21.5	217
15	宝塚歌劇雪組 『私立探偵ケイレブ・ハント』/ショーグループ『Greatest HITS!』	20.6	89
16	宝塚歌劇月組 『NOBUNAGA<信長>-下天の夢-』/『Forever LOVE!!』	20.2	85
17	劇団四季「エルコスの祈り」	18.6	201
18	劇団四季「ウィキッド」	17.4	175
19	劇団四季「ガンバの大冒険」	15.2	212
20	劇団四季「王子とこじき」	13.5	107

〔参考〕 演劇の興行規模ランキング

【興行規模ランキング】 *興行規模＝公演回数×各会場の最大収容人数 実際の動員数とは異なる

演劇 会場収容人数1000人以上:2017年

順位	タイトル	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	「Endless SHOCK」	24.9	138
2	梅沢富美男&研ナオコ アッ!とおどろく夢芝居	16.4	92
3	劇団☆新感線『髑髏城の七人』 Season花	11.2	85
4	「少年たち ~Born TOMORROW~」	10.7	94
5	中国国家京劇院	10.6	52
6	劇団☆新感線『髑髏城の七人』 Season鳥	9.7	74
7	「細雪」	9.6	66
8	ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」“勝者と敗者”	8.7	36
9	ハイパープロジェクト演劇「ハイキュー!!」“進化の夏”	8.1	37
10	福田こうへい特別公演	7.5	50
11	劇団☆新感線『髑髏城の七人』 Season風	7.2	55
12	「JOHNNYS' ALLSTARS ISLAND」	7.2	38
13	「JOHNNYS' YOU&ME ISLAND」	7.0	37
14	滝沢歌舞伎 2017	6.7	47
15	五木ひろし特別公演 坂本冬美特別出演	6.6	43
16	音楽劇「マリウス」	6.4	53
17	氷川きよし 特別公演	6.2	43
18	「ふるあめりかに袖はぬらさじ」	6.1	42
19	歌手生活30周年 藤あや子特別公演 特別出演三山ひろし	5.9	41
20	「俺節」	5.5	34

演劇 会場収容人数1000人以上:2016年

順位	タイトル	興行規模 (万人)	公演回数 (回)
1	「Endless SHOCK」	14.2	75
2	地球ゴージャスプロデュース公演Vol. 14「The Love Bugs」	10.7	65
3	「おたふく物語」	10.3	72
4	劇団☆新感線 SHINKANSEN☆RX 「Vamp Bamboo Burn!」	10.0	60
5	「かあちゃん」	9.3	76
6	コロッセ特別公演	9.2	73
7	「三婆」	8.5	66
8	舟木一夫 特別公演	8.4	66
9	劇団☆新感線 いのうえ歌舞伎«黒»BLACK 「乱鶯」	8.2	51
10	「JOHNNYS' World」	8.0	42
11	JOHNNYS' Future WORLD	7.5	43
12	「DREAM BOYS」	7.2	38
13	滝沢歌舞伎 2016	7.0	49
14	「JOHNNYS' ALLSTARS ISLAND」	6.6	35
15	舞台「真田十勇士」	6.6	49
16	伍代夏子 藤あや子 新春特別公演	6.2	45
17	新橋演舞場 二月喜劇名作公演	5.7	40
18	「御宿かわせみ」	5.3	39
19	東京喜劇 熱海五郎一座	5.3	37
20	「祇園の姉妹」	5.1	37

近年の新たなトレンド

◆ 多様化するメディアミックス

従来のジャンルを超えた、異ジャンル間の融合も進んでいる。

- ex. ●ライブシネマ・コンサート：映画の本編映像を観ながらオーケストラの生演奏を楽しむ
 - クラシック×他ジャンルコラボレーション（ゲーム、アニメ、ボーカロイド楽曲の演奏、メディアアーティストによる映像演出、映画監督による舞台演出）
- etc.

◆ 体験型・参加型イベント

リアリティが没入感を生む、体験型・参加型のイベント

- ex. 『スリープ・ノー・モア』、観客参加型の展覧会『彼女と。』、移動参加型演劇『サファリング・ザ・ナイト』、スイッチ総研 etc.

◆ テクノロジーとの融合

<ライブ> と <テクノロジー> の組み合わせによる新たな体験を提供する試みも行われている

- ex. 落合陽一×日本フィルVol.1《耳で聞かない音楽会》、アンドロイドオペラ『Scary Beauty』、FULL CONTROL TOKYO、映画上映システム「ScreenX」 etc.

首都圏の主な大規模ライブ会場

収容人数 (人)



- さいたまスーパーアリーナ (コサト 22,500) *2016年改修
- 横浜アリーナ (コサト 17,000) *2016年改修
- 中野サンプラザ (2,222)
- 日産スタジアム(72,327)
- 西武ドーム(33,556)
- 千葉マリスタジアム(30,011)
- 横浜スタジアム(30,000)
- 幕張メッセ国際展示場9～11ホール(約15,000)
- パシフィコ横浜 展示ホール(約15,000)
- 代々木第一体育館(コサト12,000)
- 国技館(11,098)
- 東京体育館(10,000)
- 有明コロシアム(10,000)
- 幕張メッセイベントホール(9,000)
- 日本武道館(コサト8,000)
- 東京国際フォーラムホールA (5,012)
- パシフィコ横浜大ホール(5,002)
- 代々木第二体育館(4,037)
- 大田区総合体育館(4,012)
- NHKホール(3,601)
- 東京ドームシティホール(2,471)
- 東京文化会館(2,303)
- 舞浜アンフィシアター(2,170)
- オーチャードホール(2,150)
- サントリーホール(2,010)
- 横浜みなとみらいホール(2,000)
- 新国立競技場(60,000)*2019年
- ケンコーレーションによるみなとみらい地区アリーナ (20,000)*2023年
- 有明アリーナ(15,000)*2019年
- 武蔵野の森総合スポーツプラザ (13,255)*2017年
- ぴあアリーナ<仮称> (10,000)*2020年
- 有明ガーデンシティホール<仮称> (7,500) *2020年
- 日比谷公会堂(2,074) *長期休館
- 渋谷公会堂(2,050) *2019年
- Zepp Yokohama(2,000) *2020年

モノの時代からココロの時代へ。

「感動のライフライン」の実現を目指して・・・



ぴあ